

# 水筒、やかんなど 金属製の容器の使用方法にご注意ください!

～酸性の飲み物による金属の溶出に伴う中毒に注意～

9月に入っても、まだ暑い日が続きそうです。暑い時期の水分補給はとても大切ですが、飲み物を保管する容器の使い方を誤ると、場合によっては中毒を起こすことがあります。容器の正しい使用方法を確認し、安全に使うようにしましょう。

## ポイント1 容器の内部にサビや傷がないか、よく確認しましょう!

サビや傷があると、もともと飲み物が直接ふれない部分が露出し、そこから金属成分が溶け出すことがあります。特に落としたりぶついたりした場合、見た目では異常がないように見えても破損していることがあります。使う前にはよく確認しましょう。



## ポイント2 酸性の飲み物を金属製の容器に

長時間保管しないようにしましょう!

酸性の飲み物（主に炭酸飲料や乳酸菌飲料、果汁飲料、スポーツ飲料）を金属製の容器に入れると飲み物の中に金属が溶け出すことがあります。容器や飲み物の注意書きをよく確認し、長時間の保管は避けましょう。もし長時間保管した場合は、いつもと違う味や色になっていないか、よく確認しましょう。

## ポイント3 定期的に新しいものに交換しましょう!

古くなった容器は、劣化して内部が破損していることがあります。思わぬ事故を防ぐためにも、定期的に新しいものに交換しましょう。



### 【古い金属製の容器による事例】

令和2年7月、古くなった金属製のやかんに入ったスポーツドリンク（粉末飲料）を飲んだ人が、嘔吐（おうと）、吐き気などの症状を訴える食中毒事例が発生しました。水道水に含まれる微量の銅成分が古いやかんの内部に蓄積し、酸性の飲料で溶け出したことが原因とみられています。